

# 生活

生活科においては、校外での活動を積極的に取り入れ、児童が具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動の充実を図ることが大切です。

## ◆ 「内容のまとめり」の考え方

生活科における「内容のまとめり」は、学習指導要領の「第2 各学年の目標及び内容」「2 内容」に示された9つの内容の一つ一つです。

|                          | 「内容のまとめり」         |
|--------------------------|-------------------|
| 学校、家庭及び地域の生活に関する内容       | 内容(1) 学校と生活       |
|                          | 内容(2) 家庭と生活       |
|                          | 内容(3) 地域と生活       |
| 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容 | 内容(4) 公共物や公共施設の利用 |
|                          | 内容(5) 季節の変化と生活    |
|                          | 内容(6) 自然や物を使った遊び  |
|                          | 内容(7) 動植物の飼育・栽培   |
| 自分自身の生活や成長に関する内容         | 内容(8) 生活や出来事の伝え合い |
|                          | 内容(9) 自分の成長       |

## ◆ 内容のまとめりごとの評価規準の作成

①学習指導要領に示された教科及び学年の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを確認します。

※「評価の観点及びその趣旨」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している「改善等通知」（別紙4 13ページ）を参照してください。

②生活科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認します。

※生活科における各内容は、「～を通して（具体的な活動や体験）、～が得意（思考力、判断力、表現力等の基礎）、～が分かり～に気付き（知識及び技能の基礎）、～したりしようとする（学びに向かう力、人間性等）」のように構成されていることを踏まえて、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

③「観点ごとのポイント」を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

※「観点ごとのポイント」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」小学校生活（30ページ）を参照してください。

### 【「動植物の飼育・栽培」の内容のまとめりごとの評価規準（例）】

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                   |
|--|---|---|
| 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらは生命を持っていることや成長していることに気付いている。 | 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。 | 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとしている。 |

## ◆ 単元の評価規準の作成

生活科は、児童が具体的な活動や体験を通して、あるいはその前後を含む学習の過程において、文脈に即して学んでいくことから、評価は、活動や体験そのものの、すなわち結果に至るまでの過程を重視して行われます。そのためにも、単元の評価規準及び一連の具体的な学習活動のまとめりである小単元における評価規準を、次のように具体的な児童の姿として作成することが大切です。

### 【「いきもの 大すき」の単元の評価規準（例）】

| 単元の評価規準     | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                   |
|-------------|---|---|---|
|             | モルモットを飼育する活動を通して、モルモットに合った世話の仕方があることや生命もっていることや成長していることに気付いている。 | モルモットを飼育する活動を通して、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。            | モルモットを飼育する活動を通して、モルモットへの親しみを持ち、生き物を大切にしようとしている。 |
| 1           | ①モルモットの特徴、変化や成長の様子に気付いている。                                      |   | ①元気に育てたい、仲良くなりたいという思いや願いをもって、モルモットに関わろうとしている。   |
| 小単元における評価規準 | ②モルモットも自分たちと同じように生命もっていること、成長すること、モルモットに合った世話の仕方があることに気付いている。   | ①モルモットの変化や成長の様子に着目したり、モルモットの立場に立って関わり方を見直したりしながら、世話をしている。 | ②モルモットに心を寄せ、モルモットの様子に合わせて、繰り返し関わろうとしている。        |
|             | ③モルモットを適切な仕方で見世話をしている。  |   |   |
| 2           |   |   |   |
| 3           | ④モルモットへの親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。                        | ②モルモットとの関わりを振り返りながら、世話をしていることやモルモットへの思い、自分自身の成長を表現している。   | ③モルモットとの関わりが増したことに自信を持ち、関わり続けようとしている。           |

「知識・技能」のうち「知識」については、「〇〇に気付いている」「〇〇が分かっている。」とし、〇〇には、気付きなど知識の基礎の具体を記述します。「技能」については、「△△において、（の際）、〇〇している」とし、△△には学習活動を、〇〇には学習指導要領解説生活編(P14)に示された習慣や技能を参考にして具体を記述します。

◆ 学習評価に関する事例

1 単元名

「いきもの 大すき」

2 内容のまとめ

第2学年 「動植物の飼育・栽培」(全16時間)

3 単元の目標

モルモットを飼育する活動を通して、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付き、モルモットへの親しみを持ち、生き物を大切にすることができるようにする。

4 単元の評価規準

※前ページ【「いきもの 大すき」の単元の評価規準(例)】を参照

5 指導と評価の計画(16時間)

| 小単元名<br>(時間)            | 学習活動  | 知      | 思 | 態 | 評価方法   |
|-------------------------|---|--------|---|---|--|
| 1<br>見てさわってなかよし大きくせん(4) | <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生からモルモット飼育を依頼され、話し合う。</li> <li>獣医師からモルモットについての話を聞き、モルモットと関わる上で、気を付けなければならないことを知る。</li> <li>モルモットに触れたり、えさを与えたり、一緒に遊んだりしながら、モルモットを観察する。</li> </ul>   | ①      |   | ① | 行動観察<br>発言内容<br>観察カードの<br>記述内容   |
| 2<br>お世話でなかよし大きくせん(7)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>モルモットの飼育環境やえさ、世話の仕方などを調べる。</li> <li>モルモットの様子に合わせて、世話の仕方を工夫する。</li> </ul> <div data-bbox="272 1039 804 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「評価規準と具体的な児童の姿」(例)</p> <p>○評価規準(思考・判断・表現)<br/>「①モルモットの変化や成長の様子に着目したり、モルモットの立場に立って関わり方を見直したりしながら、世話をしている。」</p> <p>○具体的な児童の姿<br/>・モルモットの食べ具合を見て、えさの種類や量を調節している。<br/>・モルモットの様子を見ながら、嫌がらないようになでたり、だっこをしたりしている。<br/>・世話の仕方や獣医師や上級生に聞いたり本で調べたりしている。</p> </div> <div data-bbox="272 1451 804 1720" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「評価規準と具体的な児童の姿」(例)</p> <p>○評価規準(知識・技能)<br/>「①モルモットの特徴、変化や成長の様子に気付いている。」</p> <p>○具体的な児童の姿(例)<br/>・感触、身体的特徴、行動面の特徴、性格や嗜好など、様々な視点から気付いたことを書いている。<br/>・モルモットのしぐさや鳴き声など、気付いたことを詳しく書いたり発言したりしている。</p> </div> | ②<br>③ | ① | ② | 行動観察<br>発言内容<br>調べ活動のメモや<br>モルモット日誌の<br>記述内容<br><br>発言内容<br>観察カードの<br>記述内容 |
| 3<br>ぼく・わたしとモルモット(5)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでのモルモットの飼育活動を振り返る。</li> <li>世話をして気付いたことやモルモットへの思い、自分自身の成長を、モルモットの本に表現する。</li> </ul> <div data-bbox="272 1839 804 2092" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「評価規準と具体的な児童の姿」(例)</p> <p>○評価規準(主体的に学習に取り組む態度)<br/>「③モルモットとの関わりが増したことに自信を持ち、関わり続けようとしている。」</p> <p>○具体的な児童の姿(例)<br/>・モルモットとの関わりを通して得られた喜びや自信を表現している。<br/>・生き物に対して、これからも大切にしたり関わり続けたいという気持ちを表現している。</p> </div>  | ④      | ② | ③ | 行動観察<br>発言内容<br>作品(モルモットの本)  |

【POINT】

思いや願いの実現に向けて気付いたことを基に考え、気付きを確かなものとしたり、新たな気付きを得たりするようにするため、「見付ける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」などの思考が多様な学習活動の中で働いているかについて評価します。

【POINT】

思いや願いの実現に向けた活動や体験の過程において気付いたことについて評価を行うとともに、それらについて、「無自覚から自覚化された気付き」「関連付いた気付き」「自分自身への気付き」などのように気付きの質が高まっているかについて評価します。  
生活上必要な習慣や技能については、特定の習慣や技能を取り出して指導するのではなく、思いや願いを実現する過程において身に付けていくものであることに留意します。

【POINT】

思いや願いの実現に粘り強く向かおうとしているかどうか(粘り強さ)、状況に応じて自ら働き掛けようとしているかどうか(学習の調整)、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとするを繰り返す、安定的に行おうとしているかどうか(実感や自信)という意思的な側面について評価します。